

---

# 小さな紙切れ

孤独

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小さな紙切れ

### 【Nコード】

N8471A

### 【作者名】

孤独

### 【あらすじ】

小さい頃たまにやった遊びです。とても普通に書きました。

子供の頃母親に一枚の紙切れを渡された。

「なにこれー」

「開いてごらん」

紙切れを開くとそこには、

《きんぎょがあやしい》

とあった。

「きんぎょがあやしい？」

「そう、金魚の所に行ってみな」

そう言われ訳もわからず金魚のいるリビングに行く。

金魚をよく観察するが、これといって変わった様子も無い。

続いて周りを見る。

すると

白い紙切れ

が、金魚鉢の下に挟まっていた。金魚鉢をどけてその紙を手にとって開いて見た。

《トイレがあやしい》

トイレか、行ってみよう。

そしてトイレのドアを開ける。

中は一般的な洋式トイレがあるだけだった。しかし、先程のこともあるので入念に辺りを探索する。

すると

「あつた！」

トイレトペーパーとそれを支えるホルダーの間に紙切れを見つけた。

《くまがあやしい》

ここで何と無く意味が分かってきた気がした。

そう、紙切れのヒントを便りに次の紙切れを探す。小さな子供でもすぐに馴染める遊びだ。

意味を理解した途端、とてもワクワクしてきた。

（ぜったいぜんぶみつけてやる！）

そう決心するほどだった。

熊と言えば、昨年買ってきた大きな熊の標本がある。というか、熊

はそれしかない。

そう思いながら熊の置いてある部屋へと向かう。

案の定熊の口の中に紙切れが挟まっていた。

口の中ということだけあって少し怖かったが勇気を出して紙切れをとる。

この熊の標本、高かったといっていたが、どれだけの金額で手に入れたのだろうか……。

どうでもいいことが。

紙切れには

《れいぞうこがあやしい》  
とあった。

そして冷蔵庫へと向かう、  
台所には晩御飯を作っている母がいた、こちらを見てニツコリと笑ってくれた。

冷蔵庫は見た瞬間に分かった。磁石で白い紙切れが挟んであったのだ。それをとって開くと

《くつがあやしい》

とあった。

（次は靴かー）

そう思いながら玄関へ向かう。そこには、母の靴と自分の靴と、下駄箱があつた。靴を探したが紙切れは見つからない、下駄箱にもなかった、靴の底も見たが、なかった。

「おかしいなー、くつつてここだよね・・・あ！」

台所に裏口があり、そこに靴があつたはずだ。

そう思い裏口に走る。

「あつた！」

靴の中に紙切れはあつた。

この時は見つけたという達成感が大きかった。

そこには

《あいことばは

みーつけた  
とあつた。

だよ》

（みーつけた？）

意味が分からなかったがとりあえず母の元へ行く。

「おかあさん、みーつけたってなにー？」

「全部見つけたんだね、はい、ご褒美だよ」

そう言って一つのキャンディーをくれた。

「ありがとう！」

そう言って晩御飯前ではあるが飴玉を口へ放り込んでみた。

この時の飴はいつもの飴よりとても甘かった

そんな気がした

小さな紙切れはきつとあなたに幸運をもたらしてくれるでしょう。



（後書き）

小さい頃の思い出を小さな範囲で書いてみました。これはとてもワクワクしましたよ（^^）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8471a/>

---

小さな紙切れ

2011年1月19日22時46分発行